

(案)

山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画
(後期計画改定版)



令和8年〇月
山武市教育委員会

目 次

第1章 基本計画の背景等.....	1
1 背景と目的	1
2 これまでの経緯.....	1
3 基本計画の期間.....	1
4 計画の進め方.....	1
第2章 市内小中学校の現状と推計.....	2
1 児童生徒数	2
2 学校施設の現状.....	3
3 学校施設の整備計画.....	4
第3章 学校規模適正化・適正配置に向けた取組.....	5
1 山武市における学校の適正規模	5
2 山武市における学校の適正配置	5
3 学校再編に向けたスケジュール	6
4 後期計画で検討の対象となる学校.....	6
5 児童数・生徒数および学級数の現状と見込み	7
6 今後の対応方針.....	9
7 学校の小規模化に対応するための手法	10
第4章 計画の進め方と配慮事項	14
1 具体的な進め方の例.....	14
2 実施計画の策定とその内容.....	14
3 配慮すべき事項.....	15

付属資料

○山武市立小学校別、児童数・学級数の推移.....	1
○山武市立中学校別、生徒数・学級数の推移.....	3

第1章 基本計画の背景等

1 背景と目的

全国的に少子化が進行する中、本市においても児童生徒数は減少傾向にあります。

令和7年度の児童生徒数は2,537人であり、基本計画を策定した平成28年度の3,476人と比較すると、939人の減少、約7割にまで減少しています。

国や県では、出生率の向上や子育て支援などの施策が検討されていますが、本市では、そうした対策の成果を待つだけでなく、今この地域で育つ子どもたちの環境を守る視点から、計画の方向性を定めています。

学校の小規模化がさらに進んだ場合、教育活動の運営にも影響が生じるため、子どもたちが安心して学べる環境の維持に向けた具体的な対応が求められます。

このような課題を踏まえ、より良い教育環境の提供を目指し、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（後期計画改定版）」を策定することとしました。

2 これまでの経緯

教育委員会では、平成28年度に、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」を策定し、これに基づき平成31年4月には松尾小学校と豊岡小学校、山武中学校と山武南中学校を、令和3年4月には日向小学校と山武西小学校を、令和4年4月には蓮沼中学校と松尾中学校を、それぞれ統合しました。

しかし、児童生徒数の減少が続く中、最適な教育環境を持続的に確保していくためには、計画の見直しと中・長期的な視点で適正な学校規模や通学区域の再検討が必要です。

そこで、令和6年6月に、学識経験者、保護者、地域の代表などで構成される「学校のあり方検討委員会」を設置し、基本方針の一部改定を実施。令和7年6月には後期計画改定に向けた諮問を行い、同年10月に答申を受けました。

教育委員会ではこの答申を踏まえ、児童生徒の健やかな育ちと学びを支えることを目指し、この度、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（後期計画改定版）」を策定しました。

3 基本計画の期間

後期計画の期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

ただし、各学校の状況は年々変化することから、児童生徒数の推移や国における学校教育の動向を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを図るものとします。

4 計画の進め方

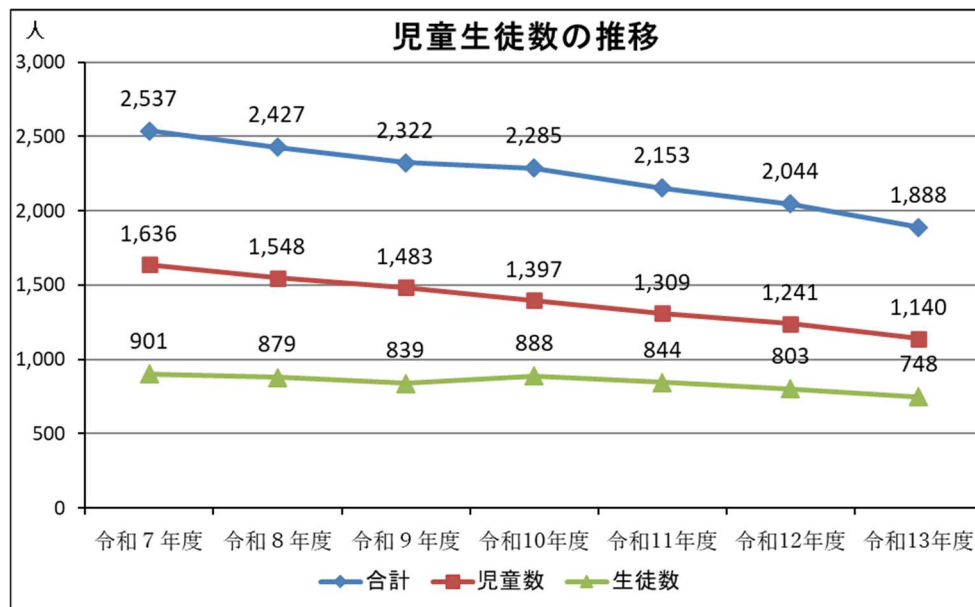
本計画にて、検討の対象となっている学校については、学校の状況や地域の実情を踏まえながら、保護者や地域住民の皆様と丁寧に検討を重ね、学校再編等の実施方法について相互理解を深めつつ、検討を進めてまいります。

第2章 市内小中学校の現状と推計

1 児童生徒数

令和7年度は実数、令和8年度以降は推計値を記載しています。(令和7年5月1日現在)

■児童生徒数の推移



■小学校

	学校名	全校児童数 (人)						
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
小 学 校	成東小学校	313	295	283	288	275	275	264
	大富小学校	70	64	63	59	52	46	38
	南郷小学校	152	146	139	141	132	129	121
	緑海小学校	107	102	95	84	84	77	68
	鳴浜小学校	84	73	68	63	65	55	58
	日向小学校	219	217	211	201	191	184	169
	睦岡小学校	161	166	165	159	152	146	134
	山武北小学校	82	78	75	64	60	58	61
	蓮沼小学校	129	111	104	86	77	78	68
	大平小学校	116	111	104	96	83	73	59
	松尾小学校	203	185	176	156	138	120	100
	合計	1,636	1,548	1,483	1,397	1,309	1,241	1,140

■中学校

	学校名	全校生徒数 (人)						
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
中 学 校	成東中学校	196	217	209	214	198	176	169
	成東東中学校	215	185	181	186	169	163	157
	山武中学校	264	239	229	246	248	237	216
	山武望洋中学校	226	238	220	242	229	227	206
	合計	901	879	839	888	844	803	748

2 学校施設の現状

* 構造体欄：「R」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造の略

* 学校施設の耐震化は平成 22 年にすべて終了しました。

■小学校

(令和 7 年 4 月 1 日 現在)

学校名	建物概要					
	建物区分	構造体	面積 (㎡)	階数	竣工	経過年数
成東小学校	校舎	R	2,157	3	S53. 3	47
	校舎	R	1,993	3	H11. 9	26
	体育館	S	1,055	2	H20. 2	17
大富小学校	校舎	R	3,280	2	H 2. 3	35
	体育館	R	861	2	H 3. 3	34
南郷小学校	校舎	R	683	2	S47. 2	53
	校舎	R	687	2	S53. 3	47
	校舎	R	2,114	2	H 4.10	33
	校舎	R	1,164	2	H 4. 3	33
	体育館	S	963	2	H23. 1	14
緑海小学校	校舎	R	3,038	3	S56.11	44
	体育館	S	963	2	H23. 1	14
鳴浜小学校	校舎	R	1,070	3	S55. 3	45
	校舎	R	1,612	2	H15. 5	22
	校舎	R	1,447	2	H15. 5	22
	体育館	S	963	2	H23. 1	14
日向小学校	校舎	R	5,437	3	H10. 3	27
	体育館	R	1,524	2	H10. 3	27
睦岡小学校	校舎	R	2,751	3	S49. 2	51
	校舎	R	1,290	3	H12. 3	25
	体育館	S	957	2	S61. 2	39
山武北小学校	校舎	R	1,318	2	S59. 3	41
	校舎	R	3,355	4	H 7. 3	30
	体育館	S	740	1	S59. 3	41
蓮沼小学校	校舎	R	1,282	3	S40. 3	60
	校舎	R	732	3	S40. 3	60
	校舎	R	638	2	S53. 6	47
	体育館	R	1,043	2	H20. 2	17
大平小学校	校舎	R	1,334	2	S43. 3	57
	校舎	R	508	2	S51. 9	49
	校舎	R	382	2	H 2. 2	35
	体育館	R	654	1	S57. 3	43
松尾小学校	校舎	R	4,824	3	R 4. 7	3
	体育館	R	916	1	S59. 2	41

■中学校

(令和7年4月1日 現在)

学校名	建物概要					
	建物区分	構造体	面積 (㎡)	階数	竣工	経過年数
成東中学校	校舎	R	743	2	S37.5	63
	校舎	R	826	2	S38.3	62
	校舎	R	281	1	S51.12	49
	校舎	R	1,322	3	S58.3	42
	校舎	R	302	1	S61.9	39
	校舎	R	595	2	H 6.2	31
	体育館	R	1,991	2	H 7.2	30
成東東中学校	校舎	R	1,306	3	S60.3	40
	校舎	R	4,091	3	H22.2	15
	校舎	R	703	3	H22.2	15
	体育館	R	1,994	2	H 6.3	31
山武中学校	校舎	R	5,397	3	H 9.10	28
	体育館	S	2,218	1	H18.3	19
山武望洋中学校	校舎	R	8,283	4	H 9.12	28
	校舎	R	1,221	1	H10.3	27
	体育館	R	2,995	3	H10.3	27
	武道場	R	605	1	H10.3	27

3 学校施設の整備計画

(山武市学校施設長寿命化計画 令和6年3月改定 抜粋)

(単位：百万円)

事業名	令和8年		令和9年		令和10年	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
改築	成東中学校 校舎	200	成東中学校 校舎	2,200	成東中学校 校舎	1,200
大規模改造 (教育内容) ※1	睦岡小学校 校舎	300	成東小学校 校舎 (S53)	200	鳴浜小学校 校舎 (教室棟)	200
	山武望洋中学校 校舎	250				
長寿命化改良	蓮沼小学校 校舎 (S40,S53)	400			大平小学校 校舎	300
その他	成東小学校 グラウンド	50	睦岡小学校 グラウンド	50		

事業名	令和11年		令和12年	
	学校名	事業費	学校名	事業費
改築				
大規模改造 (教育内容)	松尾小学校 体育館	150	大富小学校 体育館	150
	山武北小学校 校舎 (H7)	250	日向小学校 体育館	150
長寿命化改良	南郷小学校 校舎 (S47,S53)	400	成東東中学校 校舎 (S60) エレベーター含む	300
その他				

「山武市学校施設長寿命化計画」

令和3年度から令和12年度までを計画期間とし、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図り、より良い教育環境を確保することを目的としています。

なお、本計画は上位計画や関連計画等との整合を図りながら策定したものであり、計画の内容が変更となる場合があります。

※1 大規模改造（教育内容）・・・学校の建物内部を多様化する教育内容や方法に適応させるために改修すること。（例：教室の改造、断熱改修、LED 照明の整備など）

第3章 学校規模適正化・適正配置に向けた取組

1 山武市における学校の適正規模

山武市内のすべての学校は小規模校※2となっており、国が示す標準的な学校規模の確保が困難な状況にあります。学校規模の適正化は、学校再編を含む検討にあたって、子どもたちの学習環境や通学環境に影響する重要なことです。

国が示す標準的な学校規模を下回る状況であっても、小規模校によるメリットを生かし、指導方法の工夫や学校運営面での努力により、課題の緩和と教育効果を高めていくことも可能です。

しかし、小規模化がさらに進行した場合には、デメリットが大きくなり、何らかの対応が必要となります。そこで、「山武市として最低限確保したい学校規模」を以下のとおり定め、小規模化がさらに進んだ場合には、この規模を今後の学校の方向性について検討する際の下限の目安とします。

■ 山武市として最低限確保したい学校規模（下限の目安）

学校種別	学級数	学年構成	児童・生徒数の目安
小 学 校	6 学級以上	各学年 1 学級以上	全校 60 人程度
中 学 校	6 学級以上	各学年 2 学級以上	全校 100 人程度

（参考）国の基準

【学校教育法施行規則第 41 条】

小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。（同第 79 条により、中学校に準用）

【文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」（9 ページ）】

小学校では、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには 1 学年 2 学級以上（12 学級以上）あることが望ましい。

中学校では、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも 1 学年 2 学級以上（6 学級以上）が必要となる。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも 9 学級以上を確保することが望ましい。

2 山武市における学校の適正配置

通学距離については国の法令と同様に、以下のとおりとします。なお、統合により通学距離が延びる場合は、スクールバス等の交通手段についても検討することとします。

学校種別	通 学 距 離
小 学 校	おおむね 4 km 以内
中 学 校	おおむね 6 km 以内

※2 小規模校・・・国では、小中学校とも 12 学級未満の学校を小規模校としている。

3 学校再編に向けたスケジュール

検討対象となった学校の方向性については、地域懇談会等の意見を踏まえ、教育委員会で協議し結論を出すことになります。

また、規模適正化に向けた具体的な取組を行う場合は、それぞれの学区の特性を考慮しつつ、学校施設の整備や通学手段の確保など、具体的な取組を円滑に進めるため、開校年度の3年前を基本として実施計画を策定します。

開校3年以上前		開校3年前	開校2年前	開校1年前	開校年度
I アンケート調査、 地域懇談会等の実施	II 学校のあり方 検討委員会へ 報告	III 実施計画 策定	IV 具体的な取組の推進		新小中学校 開校

4 後期計画で検討の対象となる学校

検討を進める学校の組合せについては、以下に掲げる枠組みを基本としつつ、地域性・通学環境・児童数の推移等を踏まえ、段階的かつ柔軟に検討することとします。

また、町村合併している山武市は、地域によって成り立ちや考え方も異なり、学校の状況もそれぞれです。このことから、画一的な学校再編ではなく、地域ごとの状況を鑑み、検討段階となった場合において、地域懇談会等を開催し、進めていくこととします。

(1) 検討の対象となる学校

<小学校> 大富小学校・鳴浜小学校・山武北小学校・大平小学校 <中学校> 成東東中学校

* 上記以外の学校については、後期計画期間においては、児童生徒数はやや減少傾向にあるものの当面の間は一定の規模を維持できる見込みです。

(2) 検討を進めることになった場合の学校の組合せ

(成東中学校区)	成東小学校 と 大富小学校
	成東中学校 と 成東東中学校
(成東東中学校区)	南郷小学校 と 緑海小学校 と 鳴浜小学校
(山武中学校区)	睦岡小学校 と 山武北小学校
(山武望洋中学校区)	蓮沼小学校 と 大平小学校

5 児童数・生徒数および学級数の現状と見込み

児童数・生徒数は、令和7年5月1日現在の数値に基づき算出しています。また、学級数は、公立小中義務教育学校編制基準（千葉県）を適用しており、小学校は1学級あたり35人、中学校は1・2年生が35人、3年生は38人を基準としています。

以上を踏まえ、児童数・生徒数および学級数の現状と見込み（学校の組合せごとの推計）について、次のとおり整理しました。

■ 検討対象校：大富小学校

令和10年度に全校児童数が60人を下回る見込みです。また、令和12年度には複式学級^{※3}の規模となる学年が発生する可能性があります、学級編制の工夫により複式学級とならない場合もあります。

○ 児童数および学級数

令和7年度（現状）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
大富小	12	7	13	12	11	15	70	1	1	1	1	1	1	6

↓

令和10年度（推計）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
大富小	8	10	9	12	7	13	59	1	1	1	1	1	1	6
成東小	61	42	48	49	36	52	288	2	2	2	2	2	2	12
合計	69	52	57	61	43	65	347	2	2	2	2	2	2	12

■ 検討対象校：鳴浜小学校

令和12年度に全校児童数が60人を下回る見込みですが、学級数は6学級を維持しています。

○ 児童数および学級数

令和7年度（現状）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
鳴浜小	10	15	8	16	12	23	84	1	1	1	1	1	1	6

↓

令和12年度（推計）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
鳴浜小	5	10	11	7	12	10	55	1	1	1	1	1	1	6
緑海小	10	14	9	15	11	18	77	1	1	1	1	1	1	6
南郷小	20	18	25	20	21	25	129	1	1	1	1	1	1	6
合計	35	42	45	42	44	53	261	1	2	2	2	2	2	11

※3 複式学級・・・同一学級に2学年以上を収容して編制する学級のこと。

■ 検討対象校：山武北小学校

令和 12 年度に全校児童数が 60 人を下回る見込みですが、学級数は 6 学級を維持しています。

○ 児童数および学級数

令和 7 年度（現状）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
山武北小	6	14	12	22	11	17	82	1	1	1	1	1	1	6



令和 12 年度（推計）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
山武北小	12	8	11	8	13	6	58	1	1	1	1	1	1	6
睦岡小	19	18	23	26	30	30	146	1	1	1	1	1	1	6
合計	31	26	34	34	43	36	204	1	1	1	1	2	2	8

■ 検討対象校：大平小学校

令和 13 年度に全校児童数が 60 人を下回り、さらに複式学級の規模となる学年が発生する見込みですが、学級編成の工夫により複式学級とならない場合もあります。

○ 児童数および学級数

令和 7 年度（現状）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
大平小	22	19	18	20	20	17	116	1	1	1	1	1	1	6



令和 13 年度（推計）														
学校名	児童数（人）							学級数						
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
大平小	8	9	5	12	13	12	59	1	←	→	1	1	1	5
蓮沼小	8	14	8	14	11	13	68	1	1	1	1	1	1	6
合計	16	23	13	26	24	25	127	1	1	1	1	1	1	6



■ 検討対象校：成東東中学校

推計値の出ている令和 18 年度までに全校生徒数が 100 人を下回る見込みはありません。ただし、18 年度には 1 年生が単学級※4 になる見込みです。

○ 生徒数および学級数

令和 7 年度（現状）								
学校名	生徒数（人）				学級数			
	1 年	2 年	3 年	合計	1 年	2 年	3 年	合計
成東東中	54	65	96	215	2	2	3	7



令和 18 年度（推計）								
学校名	生徒数（人）				学級数			
	1 年	2 年	3 年	合計	1 年	2 年	3 年	合計
成東東中	35	42	45	122	1	2	2	5
成東中	37	45	69	151	2	2	2	6
合計	72	87	114	273	3	3	3	9

6 今後の対応方針

〈小学校〉

推計では、令和 10 年度に大富小学校が「山武市として最低限確保したい学校規模」の児童数の目安を下回り、その後も減少が続くことが見込まれます。その他の学校は、令和 12 年度以降に同規模を下回る見込みとなっています。

このことから、大富小学校を、優先度の高い学校とし、令和 8 年度から今後の学校のあり方について検討を進めていくこととします。

その他の学校については、今後の児童数の推移や学校施設の老朽化等の状況を考慮しつつ、順次検討を進めていきます。

〈中学校〉

中学校については、当面の間、一定の生徒数を有し、複数学級を維持できる見込みであることから、生徒数の推移や教育環境に与える影響等を確認しながら、今後のあり方について検討を進めていきます。

※4 単学級・・・1 学年に 1 つの通常学級のみが編制されている学級のこと。

7 学校の小規模化に対応するための手法

少子化の進行などにより、学校のあり方や施設配置の見直しが求められており、学校規模に応じた教育環境の整備が必要です。

教育委員会では、学校再編の検討にあたり、ICTなどの活用により学びの質を高め、より良い教育環境の提供を前提としています。そのため、学校の統合だけでなく、地域や学校の特性に応じた取組の導入も視野に入れて検討を進めてまいります。

なお、いずれの方法を進める場合にも、地域住民や保護者の理解と協力を得ながら丁寧に対応してまいります。

(1) 学校の統合

統合の検討は、後期計画で対象となっている学校の組合せに基づき、進めていきます。

以下の3形態が想定されます。

ア 廃校

◎複数校の児童が1校に集約され、統合校へ通学する。

◎廃止される学校の所在地域からは学校がなくなる。

メリット	デメリット
・学年の人数を増やすことができる。 ・複式解消など、小規模校のデメリットを解消することができる。	・廃止される学校の所在地域からは学校がなくなる。 ・きめ細かな指導をするために、少人数指導教員を配置する必要がある。

イ 休校

◎複数校の児童が1校に集約され、統合校へ通学する。

◎見た目は廃校と同じだが、書類上は学校が残っている状態。

メリット	デメリット
・学年の人数を増やすことができる。 ・休校した地域で人が増えればすぐに学校が再開できる。	・休校している学校に通う子どもはいないため、地域に学校がなくなったような状態となる。 ・休校しても子どもが増える可能性が低く、休校後数年で廃止となる場合が多い。

ウ 分校

◎一方を本校、一方を分校とし、学校を廃止せずに残す。

メリット	デメリット
・低学年は少人数での指導が適しているため統合を行わず、従来どおり少人数での指導が可能であり、高学年は大人数での指導が適しているため統合を行い、統合後は大人数での指導が可能となる。 ・統合しても学校がなくなることはない。	・分校には低学年の児童が少人数で在籍しているため、登下校はその児童のみで行わなければならない。 ・学年によって兄弟姉妹の通学先が異なる。 ・行事によっては本校・分校間の移動が必要。

(2) 小中連携校、小中一貫校

小学校と中学校の施設を同一敷地内に設置し、運動会などの学校行事を合同で行うなど、小中が連携することで、大人数による活動が可能となる学校です。

さらに学習内容や指導の流れを小学校から中学校までつなげて、9年間を通じて切れ目のない教育を行うのが小中一貫校です。また、制度として小学校と中学校を統合する「義務教育学校」があり、この場合は校長が1人となり、1つの学校として運営されます。

メリット	デメリット
・ 学校全体の人数は増加する。 ・ いわゆる「中1ギャップ」の緩和につながる。 ・ 異学年の児童生徒と交流することで、より広い視野でのコミュニケーションが期待できる。	・ 学年の人数は増加しない。 ・ 複式解消など、小規模校のデメリットの解消は図れない。 ・ 小中で授業の時間が異なるため、チャイムが鳴らせない等、小中を同居させるためには工夫が必要になる。

(3) 小規模特認校制度の導入

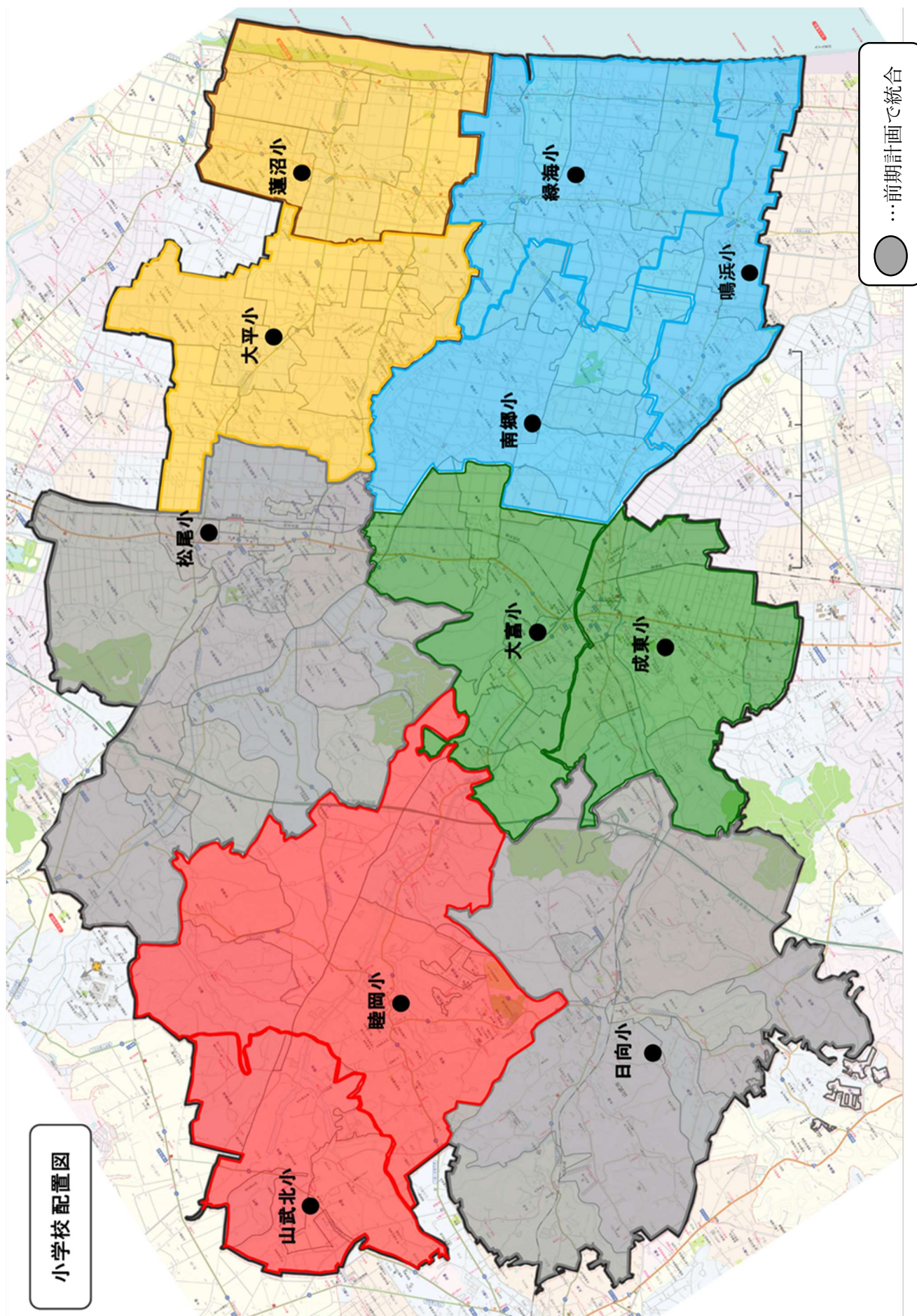
本制度は、文部科学省の「通学区域制度の弾力的運用について（通知）」に基づき、希望する児童生徒が校区外からの入学を可能とするものです。少人数であることを活かしたきめ細やかな指導と、特色ある教育プログラムの実施により、一人一人の学びのニーズに応えることを目指します。また、地域との連携を深め、地域の特色を生かした教育活動を展開することで、学校の魅力をさらに高めていきます。

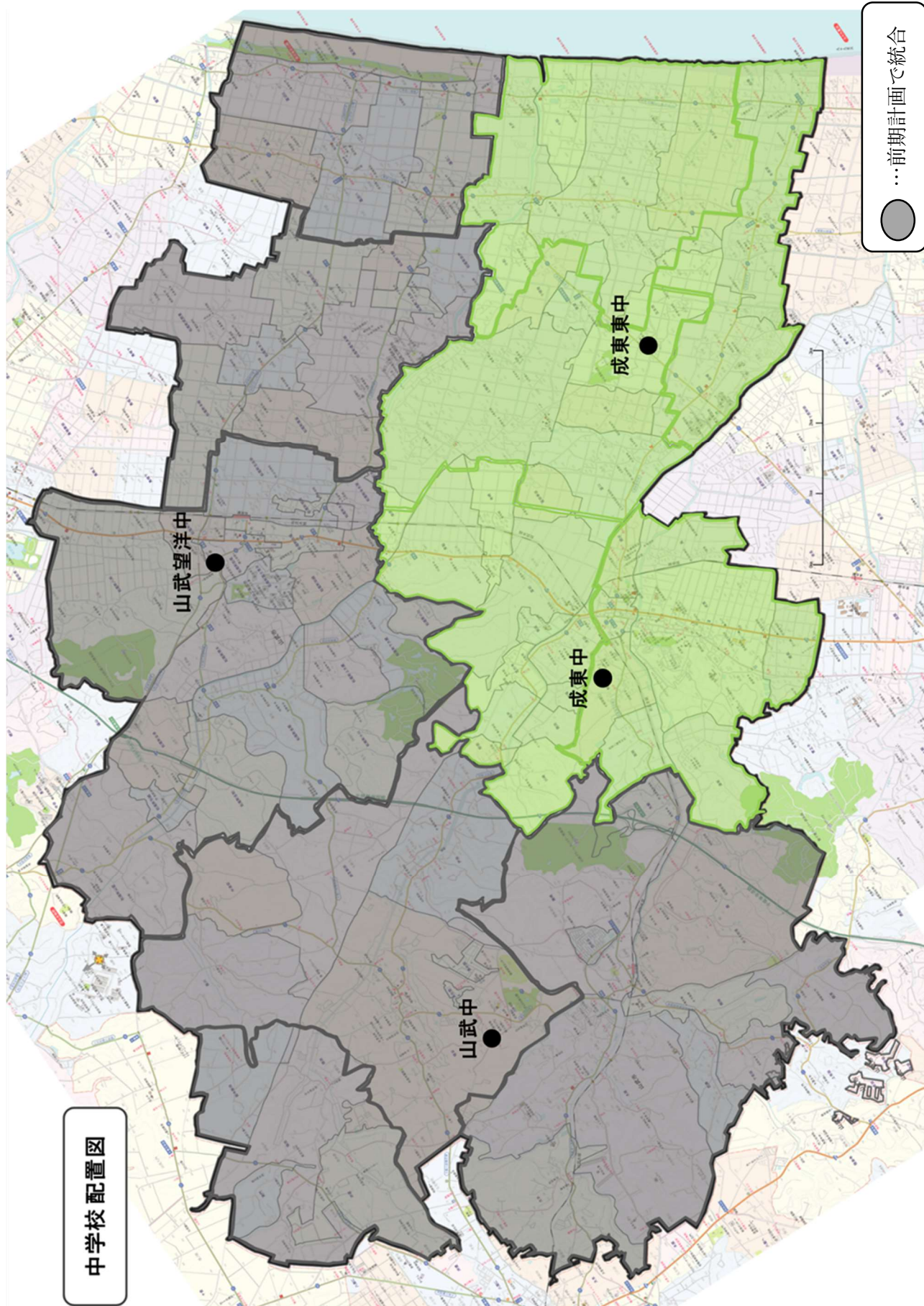
メリット	デメリット
・ 学区外からも子どもが通うようになり、学年の人数が増える。 ・ 小規模での特色ある指導を受けることができる。	・ 学校規模を大きくする制度ではないため、子どもの数が劇的に増えることはない。 ・ 通学は保護者負担となる。

(4) 隣接校との交流促進

小規模校同士での学校行事の合同実施や、ICTを活用したオンラインでの合同授業など、様々な形で合同の活動を行います。

メリット	デメリット
・ 通常は小規模できめ細かな指導を行い、必要に応じて規模を大きくして活動できる。	・ 対面で合同の活動を行う場合、日程調整やバスの手配が必要。また対面かオンラインかに関わらず、進度の調整や指導内容の共通理解など、教員の準備が多くなる。

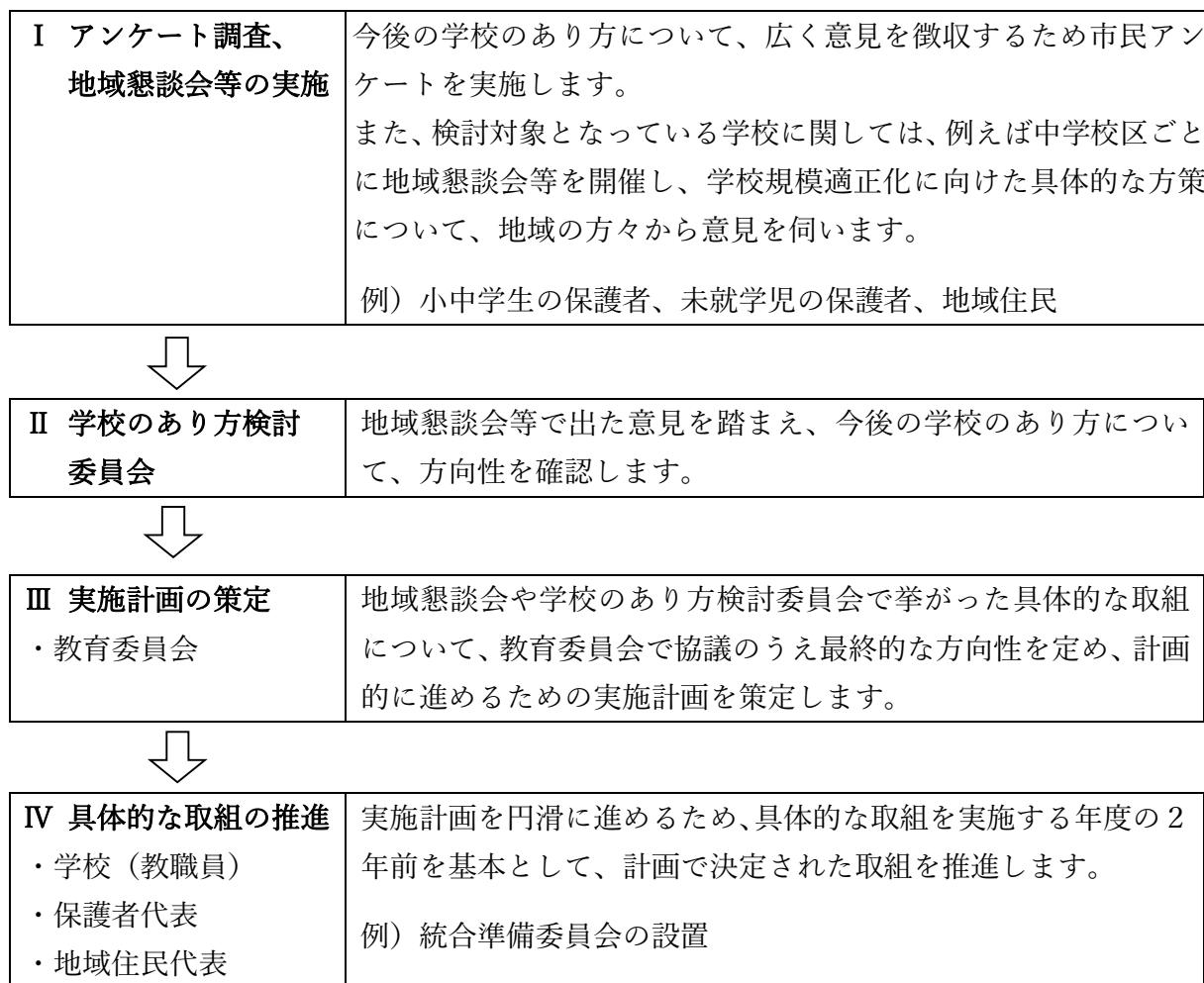




第4章 計画の進め方と配慮事項

1 具体的な進め方の例

基本計画（後期計画）での対象校において、「山武市として最低限確保したい学校規模」を下回る見込みとなり、学校の方向性についての検討段階となった場合は、地域や学校の特性も踏まえながら柔軟に取り組んでいきます。



2 実施計画の策定とその内容

実施計画の策定とその推進にあたっては、その計画内容について対象校の保護者や地域の皆様に対して十分な説明を行うとともに、意見・要望を十分に踏まえ、理解と協力を得て策定し推進していきます。

また、実施計画は、概ね次の内容について策定します。

- (1) 対象校・計画期間・通学区域
- (2) 統合準備委員会等の調整事項
- (3) 学校規模適正化・適正配置に向けたスケジュール
- (4) 学校規模適正化・適正配置にあたって配慮すべき事項

3 配慮すべき事項

ここでは、山武市の将来のために、次の時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供するために、学校規模適正化を進めるにあたって、特に留意すべき事項について、述べていきます。

次の時代を担う山武市の子どもたちにとって、より良い教育環境が提供されるよう、地域の良さ、学びの場を大切にすることを第一に考え、検討していきます。

(1) 児童生徒の環境変化への配慮

学校再編が行われた場合、児童生徒の学習環境や生活環境が大きく変化する場合があることから、新たな学校生活に円滑に移行できるよう、統合等の前には学校間交流を実施するなど、児童生徒の学習面や心理面について十分な配慮が必要です。

(2) 通学環境における安全安心への配慮

学校再編が行われた場合、児童生徒の通学区域が大きく変化する場合があることから、防犯対策や交通事故対策等の通学路の安全確保や地域での見守り活動等の安心面について、地域と一体となって調整するとともに、スクールバス等の手立てを講じる場合には、児童生徒の運動不足や教育活動の時間の確保等、対象となる児童生徒の心身のケアについて十分な配慮が必要です。

また、通学区域の拡大や変更により、地域と学校の関係が希薄化することのないよう配慮する必要があります。

(3) 教職員体制の整備等への配慮

小規模校を存置する場合、子どもたちの学びを充実させるため、指導方法やカリキュラム編成の工夫などを図るとともに、教職員の資質向上のための研修機会を充実し、より効果的な教育活動を行うことができるようにする必要があります。

(4) 地域コミュニティ活動への配慮

学校施設は、地域行事や地域活動の拠点施設、災害時の避難場所など、地域コミュニティの核となっていることから、学校規模適正化を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対して、その必要性などを十分に説明し、理解を得られるよう配慮する必要があります。

(5) 学校施設および跡地の活用

学校を廃止する場合、使われなくなる学校施設および跡地の活用に関する地域の意向やニーズを考慮するとともに、財政面や防災面などを踏まえ、多角的な視点から将来を見通した有効活用策を検討するよう配慮する必要があります。

(6) 学校施設整備への配慮

学校施設の維持更新や保全を図る上では、コスト縮減の意識を持ちつつも、老朽化対策、安全性の確保の観点から責任を持って予算を確保し整備するなど、学校規模適正化が行われた場合においても、引き続き、適切な管理運営に取り組むよう配慮する必要があります。

付 属 資 料

○山武市立小学校別、児童数・学級数の推移……………	1
○山武市立中学校別、生徒数・学級数の推移……………	3

○山武市立小学校別、児童数・学級数の推移(1学級:35人で計算)令和7年度～令和13年度

令和7年5月1日現在

学校名	令和7年度							令和8年度							令和9年度							令和10年度							
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	
成東小学校	児童数	49	36	52	56	54	66	313	48	49	36	52	56	54	295	42	48	49	36	52	56	283	61	42	48	49	36	52	288
	学級数	2	1	2	2	2	2	11	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	12	
大富小学校	児童数	12	7	13	12	11	15	70	9	12	7	13	12	11	64	10	9	12	7	13	12	63	8	10	9	12	7	13	59
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
成東中学校区	児童数	61	43	65	68	65	81	383	57	61	43	65	68	65	359	52	57	61	43	65	68	346	69	52	57	61	43	65	347
	学級数	2	2	2	2	2	3	13	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	12	
南郷小学校	児童数	25	23	27	23	27	27	152	21	25	23	27	23	27	146	20	21	25	23	27	23	139	25	20	21	25	23	27	141
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
緑海小学校	児童数	18	17	14	20	22	16	107	11	18	17	14	20	22	102	15	11	18	17	14	20	95	9	15	11	18	17	14	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
鳴浜小学校	児童数	10	15	8	16	12	23	84	12	10	15	8	16	12	73	7	12	10	15	8	16	68	11	7	12	10	15	8	63
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
成東中学校区	児童数	53	55	49	59	61	66	343	44	53	55	49	59	61	321	42	44	53	55	49	59	302	45	42	44	53	55	49	288
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	12	
日向小学校	児童数	33	31	40	39	43	33	219	31	33	31	40	39	43	217	37	31	33	31	40	39	211	29	37	31	33	31	40	201
	学級数	2	1	2	2	2	1	10	1	1	1	2	2	2	9	2	1	1	1	2	2	9	1	2	1	1	1	2	8
睦岡小学校	児童数	30	25	25	29	27	25	161	30	30	25	25	29	27	166	26	30	30	25	25	29	165	23	26	30	30	25	25	159
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
山武北小学校	児童数	6	14	12	22	11	17	82	13	6	14	12	22	11	78	8	13	6	14	12	22	75	11	8	13	6	14	12	64
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
山武中学校区	児童数	69	70	77	90	81	75	462	74	69	70	77	90	81	461	71	74	69	70	77	90	451	63	71	74	69	70	77	424
	学級数	2	2	3	3	3	3	16	3	2	2	3	3	3	16	3	3	2	2	3	3	16	2	3	3	2	2	3	15
連沼小学校	児童数	18	13	17	32	18	31	129	13	18	13	17	32	18	111	11	13	18	13	17	32	104	14	11	13	18	13	17	86
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
大平小学校	児童数	22	19	18	20	20	17	116	12	22	19	18	20	20	111	13	12	22	19	18	20	104	12	13	12	22	19	18	96
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	
松尾小学校	児童数	32	33	34	41	29	34	203	16	32	33	34	41	29	185	20	16	32	33	34	41	176	21	20	16	32	33	34	156
	学級数	1	1	1	2	1	1	7	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	6	
山武望洋中学校区	児童数	72	65	69	93	67	82	448	41	72	65	69	93	67	407	44	41	72	65	69	93	384	47	44	41	72	65	69	338
	学級数	3	2	2	3	2	3	15	2	3	2	2	3	2	14	2	2	3	2	2	3	14	2	2	2	3	2	13	
合計	児童数	255	233	260	310	274	304	1,636	216	255	233	260	310	274	1,548	209	216	255	233	260	310	1,483	224	209	216	255	233	260	1,397
	学級数	13	11	13	14	13	12	76	12	12	12	13	14	13	76	13	12	12	12	13	14	76	12	13	12	12	13	74	

学校名	令和11年度						令和12年度						令和13年度									
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	
成東小学校	児童数	39	61	42	48	49	36	275	36	39	61	42	48	49	275	38	36	39	61	42	48	264
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12
大富小学校	児童数	6	8	10	9	12	7	52	1	6	8	10	9	12	46	4	1	6	8	10	9	38
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	4
成東中学校区	児童数	45	69	52	57	61	43	327	37	45	69	52	57	61	321	42	37	45	69	52	57	302
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12
南郷小学校	児童数	18	25	20	21	25	23	132	20	18	25	20	21	25	129	17	20	18	25	20	21	121
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
緑海小学校	児童数	14	9	15	11	18	17	84	10	14	9	15	11	18	77	9	10	14	9	15	11	68
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
鳴浜小学校	児童数	10	11	7	12	10	15	65	5	10	11	7	12	10	55	13	5	10	11	7	12	58
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
成東中学校区	児童数	42	45	42	44	53	55	281	35	42	45	42	44	53	261	39	35	42	45	42	44	247
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	2	2	2	2	2	11	2	1	2	2	2	2	11
日向小学校	児童数	30	29	37	31	33	31	191	24	30	29	37	31	33	184	18	24	30	29	37	31	169
	学級数	1	1	2	1	1	1	7	1	1	1	2	1	1	7	1	1	1	1	2	1	7
睦岡小学校	児童数	18	23	26	30	30	25	152	19	18	23	26	30	30	146	18	19	18	23	26	30	134
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
山武北小学校	児童数	8	11	8	13	6	14	60	12	8	11	8	13	6	58	9	12	8	11	8	13	61
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
山武中学校区	児童数	56	63	71	74	69	70	403	55	56	63	71	74	69	388	45	55	56	63	71	74	364
	学級数	2	2	3	3	2	2	14	2	2	2	3	3	2	14	2	2	2	2	3	3	14
蓮沼小学校	児童数	8	14	11	13	18	13	77	14	8	14	11	13	18	78	8	14	8	14	11	13	68
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
大平小学校	児童数	5	12	13	12	22	19	83	9	5	12	13	12	22	73	8	9	5	12	13	12	59
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	5
松尾小学校	児童数	16	21	20	16	32	33	138	15	16	21	20	16	32	120	12	15	16	21	20	16	100
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
山武望洋中学校区	児童数	29	47	44	41	72	65	298	38	29	47	44	41	72	271	28	38	29	47	44	41	227
	学級数	1	2	2	2	3	2	12	2	1	2	2	2	3	12	1	2	1	2	2	2	10
合計	児童数	172	224	209	216	255	233	1,309	165	172	224	209	216	255	1,241	154	165	172	224	209	216	1,140
	学級数	12	12	13	12	12	12	73	12	11	12	13	12	12	72	12	11	11	11	13	12	70

※ 令和7年度の数値は実数、令和8年度から令和13年度までの数値は推計値です。(学級数には、特別支援学級を含めていません。)

ピンクの部分は、令和7年度の基準に基づいて学級編制を行った場合の様式の規模を示していますが、担任以外の教員を活用した学級編制を行うことで、複式学級としない場合があります。

○山武市立中学校別、生徒数・学級数の推移（1学級：1学年は35人・2～3学年は38人で計算）令和7年度～令和19年度

令和7年5月1日現在

学校名	令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度			令和12年度			令和13年度		
	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	
成東中	生徒数	63	73	60	196	81	63	73	217	65	81	63	209	68	65	81	214	43	65	68	176
	学級数	2	2	2	6	3	2	2	7	2	3	2	7	2	2	3	7	2	2	2	6
成東東中	生徒数	54	65	96	215	66	54	65	185	61	66	54	181	59	61	66	186	55	49	59	163
	学級数	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
山武中	生徒数	73	91	100	264	75	73	91	239	81	75	73	229	90	81	75	246	70	77	90	237
	学級数	2	3	3	8	3	2	3	8	3	2	2	7	3	3	2	8	2	3	3	8
山武望洋中	生徒数	71	85	70	226	82	71	85	238	67	82	71	220	93	67	82	242	65	69	93	227
	学級数	2	3	2	7	3	2	3	8	2	3	2	7	3	2	3	8	2	2	3	7
合計	生徒数	261	314	326	901	304	261	314	879	274	304	261	839	310	274	304	888	260	310	274	844
	学級数	8	10	10	28	11	8	10	29	9	10	8	27	10	9	10	29	9	10	9	28

学校名	令和14年度				令和15年度				令和16年度				令和17年度				令和18年度				令和19年度				
	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	中1	中2	中3	合計	
成東中	生徒数	57	61	43	161	52	57	61	170	69	52	57	178	45	69	52	166	37	45	69	151	42	37	45	124
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	1	2	5
成東東中	生徒数	44	53	55	152	42	44	53	139	45	42	44	131	42	45	42	129	35	42	45	122	39	35	42	116
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5	2	1	2	5
山武中	生徒数	74	69	70	213	71	74	69	214	63	71	74	208	56	63	71	190	55	56	63	174	45	55	56	156
	学級数	3	2	2	7	3	2	2	7	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
山武望洋中	生徒数	41	72	65	178	44	41	72	157	47	44	41	132	29	47	44	120	38	29	47	114	28	38	29	95
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5	2	1	2	5	1	1	1	3
合計	生徒数	216	255	233	704	209	216	255	680	224	209	216	649	172	224	209	605	165	172	224	561	154	165	172	491
	学級数	9	8	8	25	9	8	8	25	8	8	8	24	7	8	8	23	7	7	8	22	7	5	7	19

※ 令和7年度の数値は実数、令和8年度から令和19年度までの数値は推計値です。（学級数には、特別支援学級を含めていません。）
学級数については、担任以外の教員を活用した学級編制を行うことで、変動する場合があります。

令和8年 月 日

お問い合わせ先

発行者 山武市教育委員会

編集 教育総務課学校再編推進係

〒289-1324 山武市殿台279番地1

電話：0475-80-1108／FAX：0475-80-1400

E-mail：kyoikusomu@city.sammug.jp

ホームページ：<https://www.city.sammug.jp/kyouiku/>